施設等利用費請求書（記入例）

（交野市）認可外保育施設等利用料 請求様式

請求日 令和 ●年 ●月 ●日

（宛先）交野市長

施設等利用費請求書（記入例）

認可外保育施設または一時預かり事業・病児保育・ファミリー・サポート・センター事業（以下 一時預かり事業等という。）の施設等利用費

【令和　●年　●月～令和　●年　●月分請求用】

〈補足説明（利用年月）〉
請求は3か月分の利用をまとめて行います。
記入例は、「1～3月分」の請求時のものです。

以下、請求書の「記載例」と「補足説明」を記載しています（裏面あり）。
補足説明は、特に注意すべき点を中心に記載しています。

1．請求者（保護者）

フリガナ	カタノ　イチロウ	生年月日	昭和・平成　　年　　月　　日
氏　名	交野　一郎 （児童との続柄　父　）	現 住 所	交野市私部1丁目1-1
		電　話	072－●●●－●●●●

補足説明（1．申請者）
申請される保護者（＝申請者）についてご記入ください。
申請者は「請求金額の振込先」の振込口座名に記載する方と同一人物にしてください。

2．施設利用する児童（認定こども）

フリガナ	カタノ　タロウ
児童名	交野　太郎
生年月日	令和　●年　●月　●日
認定区分	☑ 新2号　☐ 新3号
請求期間における転入・転出	
☐ 転入した　☐ 転出した	
転入または転出日	令和　年　月　日

補足説明（2．施設利用する児童）
利用した児童についてご記入ください。
①**認定区分**は、該当箇所に✓を入れてください。
②請求期間内に市内転入、市外転出した場合のみ✓をいれて「転入または転出日」を記載してください。
請求期間内に転入出されていない場合は、記入不要です。

3．在園する認可外保育施設 ※一時預かり事業等のみ利用した方は、裏面「6」を記入

フリガナ	●●●●ホイクエン
施設名	●　●保育園
請求期間の在園状況	
☐期間中在園　☐途中入園した　☐途中退園した	
途中入園・退園した日	令和　年　月　日

補足説明（3．在園する認可外保育施設）
認可外保育施設に在園している場合、ご記入ください。
※「一時預かり事業等」のみを利用した方は、空白とし、裏面「6」に利用した施設・事業名等をご記入ください。
①在園している認可外保育施設名を記入してください。
②**在園状況**は、利用期間内に途中入園、途中退園した場合のみ、その年月日を記入してください。
期間中在園に✓を入れた場合は、記入不要です。

〈裏面に続く〉

4．施設等利用費の請求額（内訳）　※新２号認定の場合の記入例

利用年月	認可外保育施設等に支払った利用料			月額上限額	請 求 額
	a	b	a＋b		
	認可外保育施設に支払った月額利用料（保育料）(※1)	「一時預かり事業等」に支払った月額合計利用料(※1)	支払額合計 aとbの金額の合計を記入	c (※2)	「a+b」と月額上限額(c)を比較し、低い方を記入
令和　●年　1　月	30,000 円	0 円	30,000 円	40,300 円	30,000 円
令和　●年　2　月	30,000 円	15,000 円	45,000 円	40,300 円	40,300 円
令和　●年　3　月	30,000 円	0 円	30,000 円	20,800 円	20,800 円
令和　　年　　月	円	円	円	円	円
請求額合計					**91,100 円**

補足説明　（4．施設等利用費の請求額（内訳））

「a」欄　：　利用月に、認可外保育施設に支払った保育料（特定費用除いた保育分のみ）を記入してください。
保育料40,000円、内、特定費用10,000円の場合　⇒　30,000円

「b」欄　：　利用月に、「一時預かり事業等」に支払った利用料（特定費用を除いた保育分のみ）の総額を記入してください。
（例）2月中に認可外保育施設に加え、一時預かり事業・病児保育事業を利用し、それぞれの利用料(特定費用除く)が
10,000円、5,000円だった場合　⇒　15,000円

〈「a」「b」欄の共通事項〉

利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定し、記入してください。(10円未満切捨)

（例）四半期設定の施設で、1～3月分の利用料(特定費用除く)が150,000円の場合：150,000円÷3ヶ月＝50,000円

「a＋b」欄：「a」と「b」の合計額を記入してください。

「c」欄　：　**月額上限額**は、**新2号認定は40,300円**、**新３号認定は45,700円**です。
※月途中で認定開始又は終了した場合は、月額上限額が日割額となります。
該当する方は以下の◆箇所を参照し、月額上限額に記入してください。

請求額　：「a＋b」欄の金額と、「c」欄の月額上限額を比較し、低い額を記入してください。

◆月途中で本市の新2・3号認定期間が開始又は終了する場合、月額上限額は以下のとおり日割額となります。(小数点以下切捨)

・月途中で認定期間が開始する場合：40,300円(45,700円)×認定開始日以降のその月の日数÷その月の日数
・月途中で認定期間が終了する場合：40,300円(45,700円)×認定終了日までのその月の日数÷その月の日数

※記入例の3月分では、新2号の認定が3月16日付けで取り消しされた方の場合を記入しています。
3月分の月額上限額：40,300円×16日÷31日＝20,800円

5．請求金額の振込先　**（口座名義は申請者名と同一のものに限ります。異なる場合は支払いできません。 例：× 申請者−母、口座−父）**

◆①～③のいずれか一つにチェックください。

☐　①過去に、認可外等保育料の無償化分の振込先として指定した口座（**振込先の口座情報を記入していただく必要はありません。**）
（きょうだいの請求の際に振込先として指定した口座を希望する場合も、①にチェックしてください。）

☐　②下記の口座（以下に振込先の口座情報を記入してください）

金融機関名				預金種目	☑ 普通　☐ 当座
●●	銀行 ・ 信用金庫	●●	支店	口座番号	
	農協 ・ 信用組合	（★）	出張所	口座名義(カタカナ)	カタノ　イチロウ

★過去に公金受取口座

☐　③マイナポー
※振込先の口
（※3）公金受取口　　に同意する。）

補足説明　（5．請求金額の振込先）

口座名義は申請者と同一のものに限ります。異なる場合はお支払できません。

【ゆうちょの方へ】

（★）欄は店名（漢数字3桁）を記入してください。

6．認可外保育施設以外に「一時預かり事業等」を利用した場合のみ、施設名等を記入

①～⑥	フリガナ	●●ホイクエン	所在地	〒 （施設住所、施設の電話番号を記載） 電話：
	施設・事業名	●●保育園		

※申請書（原本）には、①～⑥まで6施設（事業名）まで記入できる欄があります。

補足説明　（6．認可外保育施設以外に「一時預かり事業等」を利用した場合のみ、施設名等を記入）

「一時預かり事業等」を利用した場合は、利用した全ての「施設・事業」について、「施設・事業」ごとに記入してください。